No.18-102　講習会

# 国際規格に基づく機械安全設計のポイント ― 機械，電気及び機能安全

共催　　日本電機工業会
協賛(予定)　安全工学会，安全工学研究所，エンジニアリング協会，化学工学会，軟包装衛生協議会，日本機械工業連合会，日本鍛圧機械工業会，日本金属プレス工業協会，日本高圧力技術協会，日本工作機械工業会，日本食品機械工業会，日本信頼性学会，日本製パン製菓機械工業会，日本非破壊検査協会，日本プラントメンテナンス協会，日本包装技術協会，農業食料工学会，腐食防食学会

**開催日：**2018 年 9 月 14 日（金曜日）10:00～17:00

**会場：**日本電機工業会　会議室 61-63　　〒102-0082　東京都千代田区一番町 17 番地 4 電機工業会館

**主旨：**　リスクアセスメントを実施し，リスクを受け入れ可能なレベルに低減させた機械を設計・製造することは，機械メーカの責務である．このために，機械の安全要求標準化が ISO,IEC を中心に進められており，わが国でも日本工業規格(JIS) として発行されている．
機械メーカとしては，仕向け地で使用されている機械安全の標準に従って機械を設計しなければならないが，「国際標準の理解・解釈に時間を要する．仕向け地で受け入れられるのか心配である．」などの声が，現場から寄せられている．
当講習会では，国際標準を用いた評価実務の第一人者が，機械の安全設計を行う際に問題となる点を，事例を交えて解説する．

**司会：**テュフラインランドジャパン株式会社　製品部　杉田　吉広

**演題：**

| | | |
|---|---|---|
| 1．機械安全・機能安全規格の最新動向と機械エンジニアのための機能安全事例 | | |
| 午前開演 | | 10:00～10:05 |
| 1) 機械安全設計の進め方と最新の国際規格･JIS の動向 | 機械安全の国際規格エキスパートによる機械設計に関連する国際規格 ISO12100 に基づく機械安全・制御安全の設計の進め方（リスクアセスメントとリスク低減の進め方のポイント）と最新の機械安全の国際規格（ISO・IEC）の動向について事例を交えて分かり易く解説する． | 10:05～10:55<br>機械安全実践技術促進会<br>畑　幸男 |
| 2) 機械エンジニアのための機能安全入門 | 欧州機械指令ではパフォーマンスレベル（PL）の表示が義務付けされており，機能安全の理解なしには PL への対応が難しくなっている．CE マーキングを始めとする国際安全規格対応の要点を解説し，午後の講習「機械安全設計のポイント」導入編として最適な内容となっている． | 11:00～11:50<br>富士電機<br>戸枝　毅 |
| 2．機械安全設計のポイント | | |
| 午後開演 | | 13:00～13:05 |
| 1) ケース 1：<br>機械安全<br>**設計のポイント** | 欧州機械指令の概要と，機械装置の適合性評価の進め方とポイントを事例や一部北米との比較を交えながらご説明いたします． | 13:05～13:55<br>SGS　ジャパン<br>塩森　淳 |
| 2) ケース 2：<br>機能安全<br>**設計のポイント** | 機械向け機能安全規格 ISO 13849-1, IEC 62061 を中心に機能安全評価・認証のポイントを説明します。 また、機能安全に特化した EMC 要求についても具体的な例を交えて説明します。 | 14:00～14:50<br>テュフズードジャパン<br>松前 貴志 |
| 休憩 | | 14:50-15:05 |
| 3) ケース 3：<br>電気安全<br>**設計のポイント** | 国内で使用実績のある電気・電子機器が初めての CE マーク対応または国外出荷対応時の典型的な指摘事例と対策事例を紹介します．実際の事例を照会しながら国外向けで安全に関わる電気・電子設計コンセプトを解説します． | 15:05～15:55<br>テュフラインランド<br>フエンテス・アドリヤン |
| 4) ケース 4：<br>北米安全<br>**設計のポイント** | UL508C から UL61800-5-1 への移行に伴い、アップグレードに伴う注意点や主な評価内容についてご紹介いたします。 | 16:00～16:50<br>UL　ジャパン<br>吉村　俊輔 |
| 質疑応答及びディスカッション | | 16:25～17:00 |

※事情により演題が変更となる場合もございます．予めご了承下さい．

**定員：**100 名(定員になり次第締め切ります)

**聴講料：**会員及び共催，協賛団体会員 5,000 円(学生員 2,000 円)　会員外 8,000 円(一般学生 3,000 円)
いずれも教材 1 冊分代金を含みます．開催日の 10 日前までに聴講料が着金するようにお申し込み下さい．
以降は定員に余裕がある場合のみ当日受付いたします．
なお、ご入金後はお申込者様のご都合による聴講料の返金はできませんので，ご注意願います．

※学生員から正員資格へ変更された方は，卒業後 3 年間,本会講習会への聴講は学生員価格にて参加が可能です．下記申込先フォームの会員資格は
「正員(学生員から正員への継続特典対象者)※学生員として入会後、正員継続 3 年の以内の方」
を選択し,卒業年と卒業された学校名を通信欄に記載下さい．

**教材：**教材のみご希望の方，または聴講者で教材を余分にご希望の方は，1 冊につき会員及び協賛団体会員 2,000 円，会員外 3,000 円で頒布いたします．
講習会終了後は教材を販売いたしませんので，開催前に予約申し込みをして下さい．
講習会終了後に発送いたします．

**申込方法：**
https://www2.jsme.or.jp/fw/index.php?action=kousyu_index&gyojino=18-102
からお申込み下さい．
※ご入金後はキャンセルのお申し出があってもご返金できませんので，ご了承下さい．
※領収書がご入り用の場合には，
https://www.jsme.or.jp/japanese/contents/02/receipt.html
をご参照の上，別途お申込み下さい．
※特別員資格にてご参加の場合は，WEB よりお申込み後，行事参加料割引券を
下記担当職員までご郵送下さい

（問い合わせ先　産業・化学機械と安全部門 担当職員　佐藤　電話（03）5360-3505）